



朝晩の冷え込みが厳しさを増し、暖房が欲しい季節になりました。3年生はセンター試験まで57日となりましたが、まだまだできることはたくさんあり、まだまだ成績も伸ばせます。1・2年生は、3年生がこの時期、何に取り組んでいるのか、そして3年生の頑張る姿をよく見ておいてください。その姿を1年後、2年後の自分に重ね合わせ、今なすべきことを考え、実行に移してください。

① 【 受験スケジュールの作成 】

3年生は一昨日、「入試スケジュール（受験校調査）」用紙が配布されたと思います。いよいよ受験スケジュールを組み立てる時期となりました。受験校の選定にあたっては、以下の点に留意してじっくりと検討してください。

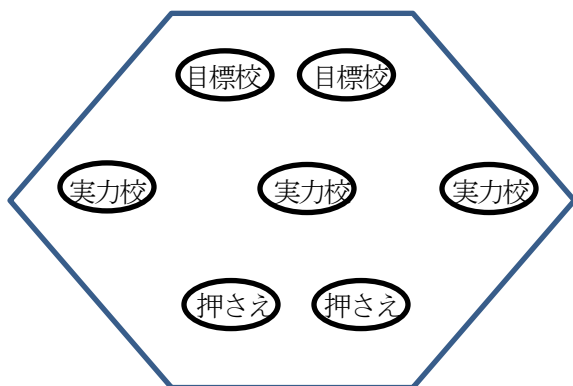
- 【1】. 併願校は、『押さえ』の学校であっても、必ず『行ってもいい』大学を選ぶこと。
毎年、合格校がありながら納得できず、結局浪人を選んだ人が10名以上います。
- 【2】. 第一志望を最初の受験にしない。徐々に難易度が上がる受験日程が理想的です。
- 【3】. 3日連続の受験は避ける(元気があれば可能かもしれないが…)。
- 【4】. 受験日だけでなく、出願締切日、合格発表日、手続き締切日なども考慮する。
特に、併願校の手続き締切日をよく確認すること。その大学を『押さえ』ておくための納入金はできるだけ少ない方がいいでしょう。
- 【5】. センター試験利用入試を活用し、併願校を増やしすぎない。センター試験利用入試はもちろん難易度が高くなりますが、押さえの大学をセンター利用で確保できるのが理想的です。

② 【 受験校の選定 … 何校受験するか？ 】

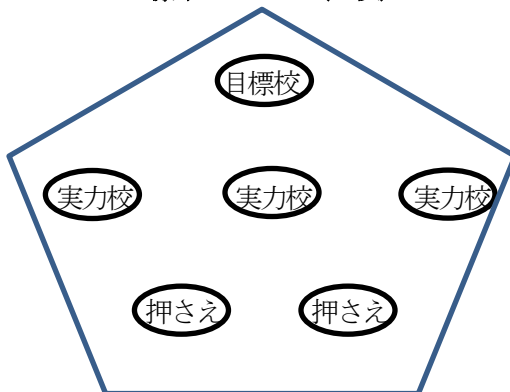
6～7校受験する場合、受験パターンはたとえば以下のようなタイプが提案されています。

- (ア) 『 チャレンジ目標校（第一志望を含む） 』・・・目標校
(イ) 『 実力相応校 』・・・実力校
(ウ) 『 押さえ（滑り止め） 』・・・押さえ

ダイヤモンド型（7校）



標準パターン（6校）



しかし、全国的に一人あたりの受験大学数は増加しており、本校でもその傾向は顕著です。

千葉西高校 一人あたりの平均受験校数 (卒業生アンケートより)

(同一大学・学部・学科に「一般」「センター」「全学部」の3つの受験方式で出願していれば「3」とする)

29期生	30期生	31期生	32期生	33期生
6. 8校	6. 7校	6. 7校	7. 2校	8. 2校

③ 【 私立大学の志望動向は？ 】

現3年生の受験動向として、大手予備校などは次のような分析をしています。

(河合塾第2回全統マーク模試からみた志望動向)

『 難関大敬遠の動き 』あり

早慶上理	前年比 95%
MARCH	前年比 93%
日東駒専	前年比 96%
成成明國武	前年比 97%

中堅層以下で志望者増加

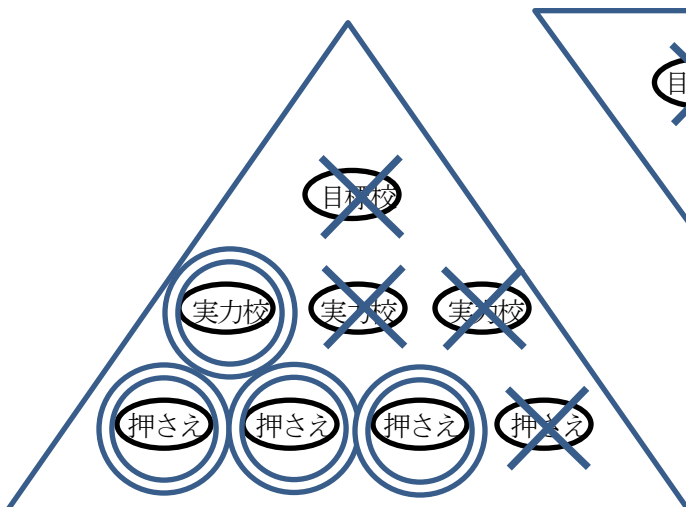
東海大	前年比 112%
武蔵野大	前年比 123%
目白大	前年比 145%
東京電機大	前年比 114%

大学定員厳格化に始まった「難関私大の合格者絞り込み」、「補欠の増加」そして浪人してしまうと移行措置無しに直面する「大学入試改革最初の受験」などから、現3年の受験生には予想通り「超現役・安全志向」が広がっています。その結果が上の表に示されています。

④ 【 強気の受験校選択 】 多くの受験生が安全志向に流れる今は強気が逆にチャンス!!

なかなか成績が伸びないこの時期には弱気になりがちです。しかも前述のように、全国的に「超現役・安全志向」が広がる中、自分も同じような気持ちを抱いたとしてもやむを得ないことだと思います。しかし上の表に見るように、「難関大敬遠の動き」は、そこを第1志望とする受験生にとっては逆にチャンスである一方、『押さえ』の大学の志願者がむしろ増加しています。ですから、『押さえ』の大学をたくさん受験するよりも、『チャレンジ目標校(第一志望を含む)』を厚く(より多く)受験してもらいたいと思います。もちろん「数打ちゃ当たる」は通用しませんし、“どうしても浪人できない”などの事情があるかもしれません。しかし、目標校の受験が少ない受験校選定ではやはり合格のチャンスは少なくなります。仮に8校受験するなら、以下のような強気の受験パターンを勧めたいと思います。

弱気の受験パターン (8校)



強気の受験パターン (8校)

